

庁内ヒアリングの結果について

1 概要

(1) 目的

環境基本計画は部局横断的な側面を持つ計画であり、計画策定に当たっては各部署が所管する事業・施策との整合性を図った上で、施策等について検討をする必要があると考える。

そこで、計画策定に際して市の関係各課に対してヒアリングを実施し、現在の市の施策・取組の実施状況、課題、今後の方向性について意見を収集し、計画策定の参考にすることとした。

(2) 日時及びヒアリング対象

ヒアリングの対象は前計画で施策・取組の対象となっていた部局等を中心に下記のとおりであった。

日程	時間	ヒアリング対象課
4 月 21 日	10:00～10:30	汚泥処理センター
	10:30～11:00	幼児教育課
	11:00～11:30	観光課
	11:30～12:00	工業課
	13:00～13:30	林政課
	13:30～14:00	都市計画課
	15:00～15:20	管理課
	15:30～16:00	文化課
	16:00～16:20	リニア対策課
4 月 22 日	10:00～10:30	農政課
	10:30～11:00	防災安全課
	11:00～11:20	生涯学習スポーツ課
	11:30～12:00	総務管財課
	13:30～14:00	下水道課・浄化管理センター
	14:30～15:00	教育施設課
	15:00～15:30	環境センター
	15:30～15:50	学校教育課
4 月 28 日	10:00～10:30	駅周辺企画課

2 主なヒアリング内容

(1) 脱炭素に関する意見

① 再生可能エネルギーの推進

● 太陽光発電設備の現状と課題

- ・ 新築・改築時の公共施設の省エネ化や再エネ基準は特に設定していない。(管財課)
- ・ 太陽光発電が設置できるような遊休地や公有地はない。(管財課)
- ・ 駐車場へのソーラーカーポートはやりたい。(管財課)
- ・ 予算確保が問題。(管財課)
- ・ 学校では南小、東小、第一中、苗木中、加子母中、福岡中、蛭川中に導入実績がある。その他施設の設置は予算上の都合から予定していない。(教育施設課)
- ・ 保育園で太陽光発電を設置しているのは1園。その他施設の設置は予算上の都合から予定していない。(幼児教育課)
- ・ 太陽光発電について、中部電力から出力制御機器の設置指示があり、福岡中・蛭川中で昨年度途中から稼働停止。売電用パワーコンディショナーの設置に多額の費用が掛かるため検討が必要(教育施設課)
- ・ 汚泥処理センターで太陽光パネル(30kW)設置済み。ただしパワーコンディショナーの修理で一部停止している。(汚泥処理センター)
- ・ 下水処理場への太陽光発電の設置を3年前に検討したが、設置可能な場所がないことがわかった(下水道課)
- ・ 工業団地の法面で大規模太陽光発電を導入している。商工会議所の主導による。(工業課)
- ・ 景観の観点で太陽光発電の問い合わせは多い。(都市計画課)
- ・ 農振農地に関して太陽光発電に原則許可は出していない。営農型太陽光発電に対して懐疑的で環境に良くないのではないかと。(農政課)
- ・ 避難所への再エネ導入は計画にも挙がっているが、現実的には予算を持つ原課が決める。連携が取れておらず事前の意見もできない。(防災安全課)

● 公共施設の省エネ化推進

- ・ 公共施設のLED化は順次実施中だが一部残っている。(管財課)
- ・ 新築・改築時の公共施設の省エネ化や再エネ基準は特に設定していない。(管財課)
- ・ 浄化管理センターの機器は下水道財団所有のものであり、更新時は同型のものに更新することになっている。(下水道課)
- ・ 学校では薪・ペレットストーブや太陽熱利用については実施していない。(教育施設課)

● 公用車・交通機関の脱炭素化

- ・ 公用車更新時は環境配慮型の車両(ハイブリッド、EV等)を導入するようにしている。(総務管財課)
- ・ EVも導入(3台)されているが、充電施設がないため移動距離に制限を設けている。(総務管財課)

- ・ ノーカーデーはイベント来場者に対して車で来場を控えてもらう趣旨のもの。(総務管財課)
- ・ 行政機能移転事業により駐車場が移転され、運転距離が短くなってガソリンの削減に繋がっている。(総務管財課)

● 事業者向け脱炭素事業

- ・ 省エネ診断補助事業（1～2 万円全額補助）を実施中。年間予算 10 件だが実績 2～3 件で広報不足が課題（工業課）
- ・ 企業誘致時に敷地内 10%緑地確保で補助金あり。（工業課）
- ・ 企業の環境配慮取組の実態については把握していない。（工業課）

● その他

- ・ スマート農業の実施。ドローンの活用や化学肥料の低減など。（農政課）
- ・ 田んぼの中干によって J-クレジットを創出することも検討。（農政課）

② 木質バイオマス・森林吸収源対策

● 現状と課題

- ・ 環境基本計画には人材育成指標のみで森林整備に関する指標が不足している。（林政課）
- ・ 人工林は間伐しないと水源涵養機能を発揮しない。また、成長しきった木は CO2 を吸収しない。計画的皆伐・植林が必要である。（林政課）

● 計画に対する意見・要望

- ・ 森林の災害未然防止機能についても記載してほしい。

（2） 自然環境保全・生物多様性に関する意見

① 希少植物保護

● 現状と課題

- ・ 天然記念物に指定されたものに対する保護を実施。（文化課）
- ・ 天然記念物となる植物の保護と安全確保の両立が課題。ハナノキが枯れて隣家倒壊の危険があっても法的制約で簡単に伐採することができない（文化課）

② 特定外来生物対策

● 現状と課題

- ・ オオキンケイギクが特に繁殖。6 月満開前の駆除が重要。住民一斉清掃活動で駆除実施。（管理課）

③ 野生動物対策

● 現状と課題

- ・ 有害鳥獣について昨年は捕獲が多かった。年々増えている。しかも多くなっており、生息範囲も広がっている。農地の法面を壊すなど影響が出ている。
- ・ 個体数調整をしているが予算的に駆除は難しい。

(3) 資源循環・ごみ対策に関する意見

① ごみ減量・リサイクルの推進

● 現状と課題

- ・ 計画に記載されているが実施していない事業がある。(環境センター)
- ・ 資源ごみについては「スチロール」が新規回収品目に追加されている。(環境センター)
- ・ 施設として軌道に乗っており拡充の余地が少ない。(環境センター)
- ・ 処理の広域化に向けた準備を進めている。(環境センター)
- ・ 紙おむつを幼稚園で回収・処分することとしたがリサイクルはしていない。(幼児教育課)
- ・ 以前は防災備蓄食料の配布によるフードロス削減をしていたがトラブルがあり現在は廃棄している。食品ロスの観点から見直しが必要か。(防災安全課)

② 有機資源循環の推進

● 現状と課題

- ・ し尿汚泥処理でリン回収・肥料化を実施している。先進事例で行政等の視察も多い。(汚泥処理センター)
- ・ 下水汚泥は全量リサイクルしている。民間肥料センター及び住友大阪セメントでセメント原料として活用(下水道課)
- ・ 給食廃油リサイクルを実証的に実施しており、パッカー車燃料に活用している。(幼児教育課)
- ・ 畜産ふん尿のたい肥化を実施している。化学肥料の高騰によって需要が見込まれる。農業側からは飼料米を畜産に提供しており、農畜連携によって好循環を作り出している。(農政課)
- ・ 剪定枝のたい肥化を行っているが全量リサイクルは予算の関係でできない。出来上がったたい肥もそれほど需要がない。(環境センター)

③ 広域処理・施設統合

- ・ 中津川市・恵那市ごみ処理広域化で9年後に新施設を整備予定。先進技術の導入を検討している。(環境センター)
- ・ 下水処理場の統合を県計画で推進。R10年度統合目標で処理効率化・エネルギー削減を期待。(下水道課)

(4) 環境教育・人材育成に関する意見

① 子供に対する環境教育

● 現状と課題

- ・ カワゲラウォッチングについて、中津川市は県内最活発で、ほぼ全小学校で4年生対象に毎年実施している。(学校教育課)
- ・ 小学4年生は環境センターの見学を実施している。以前は下水処理センターにも見学に来ていたが最近は来ていない。汚泥処理センターも見学に来ている学校はない。社会科見学の見学先は学校主体で決めており市からの指示は出来ない。(学校教育課、環境センター、下水道課、汚泥処理センター)
- ・ 幼稚園・保育園では木育を進めている。木育インストラクターの派遣や木遊館を活用している。(幼児教育課)
- ・ 加子母・付知で林業体験を実施している。(学校教育課)

② 市民向け環境教育

● 現状と課題

- ・ 各公民館で環境講座を実施。(生涯学習スポーツ課)
- ・ 市長公約で「大人の学び」を推進している。(生涯学習スポーツ課)
- ・ 講師が地域にいれば幅広くできるが講師選びやテーマ選びが困難。講師の確保が課題。(生涯学習スポーツ課)

(5) リニアに関する意見

① リニアに関連したまちづくり

● 現状と課題

- ・ 千旦林川で親水公園を計画。河川を直線化し右岸スペースを芝生広場として環境学習で活用する検討をしている。(駅周辺企画課)
- ・ 駅周辺エリアデザインについても協議しているが未定である。(駅周辺企画課)
- ・ JR・関連事業者への環境配慮工事の要請はしている。(リニア対策課)
- ・ 環境配慮型駅周辺まちづくり推進は課題だがまだ何も決まっていない。(駅周辺企画課)

(6) その他

● 現状と課題

- ・ エコツーリズムについては主体的に実施していない。(観光課、林政課、農政課)
- ・ 情報発信不足(事業全般)